

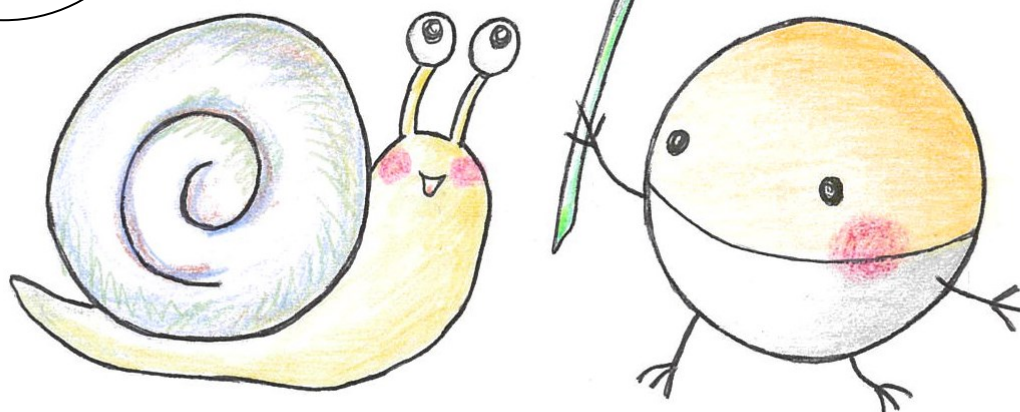
# こくさいこうりゅうせんたー とよなか国際交流センターおしらせ

**VOL.87** とよなか国際交流センター広報誌 2016年6月

## 6月号

雨でもおでかけしようね！センターには楽しい出会いがまっているよ！

By コモとスース



### とよなか国際交流センターからのおしらせピックアップ

問合・申込 とよなか国際交流協会(指定管理者) ☎06-6843-4343 (水曜、年末年始を除く毎日、9:00~20:00)

**6/18(土) 13:00~15:00**

#### 外国人のための茶道教室

内容: 自分でお茶をたてて飲む(お茶菓子つき)

対象: 外国人、6人

参加費: 300円

要申込み、先着順

**6/19(日) 14:00~16:00**

#### 夏期ホストファミリーボランティア登録説明会

内容: 留学生と交流するホストファミリー事業(家庭宿泊なし)の説明、経験者や留学生との懇談

ほか

対象: 30人

要申込み、先着順 ※一時保育有(要申込み)



(※参加費は記載がないものは無料、場所は、記載がないものはすべてとよなか国際交流センターです)

6/18(土)

10:00~12:00

「平和と共存のための～おまつり地球一周クラブ」今年も始まります!

おまつり地球一周クラブは小中学生を対象とした国際理解プログラムです。地域に住む外国人が講師となり、異なる国をテーマに「知る」「見る」「食べる」など様々な視点で子どもたちが多文化に触れる機会や、講師との具体的な出会いの場を作っています。

昨年度の一周年の「旅」ではベトナム、韓国、ペルー、フィリピンを巡り、それぞれの国の「たのしいこと」「おいしいこと」にみんなで出会いました。

今年度は今まで別枠で開催していたチョアチョアハングル(韓国・朝鮮文化に触れる子ども向けプログラム)が「韓国編」として合流。さらにパワーアップして旅は続いています。今年度も毎月様々な国の方との出会いが待っていますよ。みんなで楽しく地球一周をしましょう!

6月18日(土)10時~12時

「おまつり地球一周クラブ～韓国の遊び編～」

民族衣装を着て、韓国の様々な遊びを体験。参加費300円



写真右) 昨年度実施したフィリピン編の様子。講師と一緒に料理をつくる子どもたち

6/18(土)

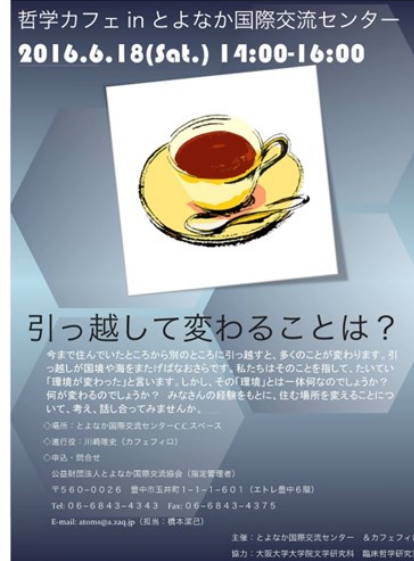
14:00~16:00

哲学カフェ

「引っ越して変わることは？」

「哲学カフェinとよなか国際交流センター」は、センターに集って対話を楽しむという、毎回リピーターの多い取り組みです。毎回のテーマは、とても時間をかけて進行役と大阪大学臨床哲学研究室のメンバーが考えています。進行役が今気になっている事柄からテーマを丁寧に手繰り寄せるような感じです。今回のテーマ、人がする「引っ越し」で変わるって何でしょう? 環境? 人間関係? 移住と引っ越しはどう違う? など。「引っ越し」ではなく「引っ越し」とした進行役の思いは? 国境を越えた人、海を越えた人、「引っ越し」したことある人もない人も一緒に対話を楽しみましょう。飲み物をご用意してお待ちしております。

6月のテーマ「引っ越して変わることは？」  
進行役：川崎唯史さん(大阪大学臨床哲学研究室)  
日時：2016年6月18日(土)14時~16時  
定員：20人 要申込み(電話もしくは来館)



各地より

「少しだけ北の国から～ふくしま@辻より」

協会事業(哲学カフェ、プロジェクト“さんかふえ”等)に参加していた辻明典さんが、2013年度より故郷である福島県南相馬市に戻り、教員をしています。辻さんからの福島からの便りをどうぞ。

4月から、特別支援学校に勤めています。

障がいのある子どもたちと日々接していると、僕たちは「発話」という行為に頼り過ぎなのかもしれない、とさえ思えてきます。たとえ上手に喋れなくても、身振り、手振り、表情、視線などから、なんて豊かな表現が生まれてくるのか…と、ただただ驚くばかりの毎日です(まだまだこの驚きを言葉にすることが十分にできていないのですが…)。うまく表現できないでいること、まだ表現することができないでいること、うまく語れないこと、語りきれないことなどにも、大切な意味が含まれているのだということを、子どもたちから日々教えてもらっている気がします。

話とはびますが、最近になってようやく、暮らしに余裕が出てきた(休日を確保できるようになった)ので、南相馬での

「てつがくカフェ」も再開しました。少しずつではありますが、対話の場をもう一度つくり直しています。僕にとっては、〈仕切り直し〉のつもりです。ちょうど先日、約8ヶ月ぶりに「てつがくカフェ」を開いたのですが、ここでもはっと引き込まれてしまう発言がありました。その言葉を忘れないようにと、その日のうちにノートを取り出して書き留めました。ある年配の女性の発言です。

私が丹精を込めて生けた花があるんです。でもね、その花を見たある人にね、こう言われたんです。

「この花には、セシウムは含まれているんですか？」

って。なんてこと言うの…そう思いました。悲しかった。その人は、花ではなくて、セシウムを見ていたんですよ。花は、

心の叫びです。…いや、叫びではないかもしれませんが。花は、私の心のささやきなのです。きっとあの人は、私のささやきなど聴こえなかったのでしょうか。花の美しさよりも、セシウムを見ようとしていたのですから。

この女性は、セシウムは、「花の美しさ」だけではなく、育てた人の思いすらも見えなくさせると言っていたのです。もしかしたら、これまでずっと語られないままに埋もれていた〈思い〉が、一つの〈表現〉として現れたのではないかと思います。よく、「福島の問題は複雑だ」と言われますが、その〈複雑さ〉を解きほぐす鍵は、人びとの〈表現〉のなかにこそあるのかもしれない。



5月号でもご報告したとおり、2016年度より外国にルーツをもつ若者支援事業の内容がリニューアルし、以下の取組みを実施する予定です。(いずれも会場は当センター)

- 「若者のたまりば」：外国にルーツを持つ若者が集い、一緒にご飯をつくって皆で食べる活動です。／日時：毎週土曜日17時～20時(第5土曜日は除く)／参加費：1回200円
- 「日本語サポート」：定時制・通信制高校、夜間中学校に通う15歳以上の生徒を対象に日本語のサポートを行います。／日時：毎週土曜日14時～16時(第5土曜日は除く)／参加費：1か月1,000円
- 「若者相談」：外国にルーツをもつ若者を対象とした相談サービスです。／日時：毎週土曜日14時～16時(第5土曜日は除く)費用：無料、※対応言語は、日本語です。

これまでの活動の経験や成果をいかながら、新たに取り組んでいきたいと思えます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

とよなか国際交流センターでは月曜日「もっともつつかえるにほんご」、木曜日「とよなかにほんご木ひる」、金曜日「とよなかにほんご金あさ」、日曜日「にちようがちゃがちゃだん」の4つの日本語交流活動があり毎週のべ100人の外国人が参加しています。そしてセンターで《にほんご》を通じて毎週100人以上の地域の人たちが、日本語ボランティアとして地域の外国人と交流しています。ボランティアからの「それぞれの活動を良く知って、曜日を越えて横のつながりを持ちたい。そうすれば、学習者にも多くのプラス面がもたらせるのでは？」の声から協会ボランティアで構成されているグループ「日本語支援グループ・むすびめ」が中心となって5月20日に交流会を開き、30人が参加しました。第1回目の今回は、各曜日の特色、学習者の様子について紹介し合いましたが、その後お互いへの質問などあり、盛り沢山でした。皆さんに書いていただいた振り返りシートには、「テーマを決めて話したい」「順に他の曜日に開いたら？」などの『次回へつづく』思いが多く書かれていました。



交流会のようす



なんぢや・カンチャ・言わせてもらえば(第87回)

「家族写真をめぐる私たちの歴史」6月刊行!

皇甫康子(ふぁんぼ・かんぢや)

自分のやっていることに、何の意味があるのだろうか、年々、モチベーションを上げるのがしんどくなっています。新しいことをしたいなと思っても、なかなか思い通りにはいきません。このままでは、だめだと思い、10数年前に頓挫していた、本作りをすることにしました。

たまたま再会した友人に話をすると、一緒にやろうということになり、在日朝鮮人女性だけでなく被差別部落出身の女性にも書いてもらうことにしました。本のテーマは、「家族写真」に写っていない私たちの個人史です。

23年前、母が他界したときに、残された家族写真を使って表現活動ができないかと思立ち、最初に「在日」の仲間が集まったのが2001年です。現代アーティストの力を借り、バンクーバーでの作品展が同年末に実現しました。翌年には韓国の光州ビエンナーレの世界各国に離散する朝鮮民族、コリアン・ディアスポラのコーナーに出展されます。そこでの出会いが、2004年の東京経済大学の展覧会に繋がり、その後、大阪、ソウルと発展し2010年、とよなか国際交流センターでの韓日併合100周年記念「家族写真」展開催となりました。この間、ワークショップも各地で開催し、「在日」をはじめ、被差別部落やアイヌ、沖縄、外国の女性た

ちや子どもたちとも交流することができました。

ワークをすると、アイデンティティーを感じる家族写真や写っているものだけでは分からない、その人の特性など、知らなかった歴史や出来事がたくさん浮上してきました。こんなに多様な女性たちがいることを知らせるにはどうすれば良いのか悩んでいると、本にすればよいとアドバイスを受けたのですが、なかなか書き進みません。移転前のとよなか国際交流センターに通い、「家族写真」にまつわる外国人女性たちのインタビューを試みたりしたのですが、長続きせず諦めかけていました。聞かせてもらったお話はまとめていたのですが、申し訳ないです。

思い起こせば、停滞期になると何かしなくてはと、本づくりを何度も再開していました。今回は絶対に最後までやりきるぞと、気持ちを奮い立たせました。二年前から一人ひとりの原稿を読み合わせる会を行い、意見交換しながら何度も書き直しました。参加者の質問や意見で、どんどん深まる原稿になっていきました。在日朝鮮人、被差別部落、アイヌ、沖縄、フィリピン、スリランカ、ベトナム出身の20代から70代までの女性たち24人が、「家族写真」をとおして、自分た

ちの歴史や表現について書き綴っています。最終校正を終えるまで、何度読んでても涙がでて、勇気が湧きました。

「違い」を持っている人たちが、生きにくい社会だからこそ、この本の女性たちの言葉に是非、触れてほしいと思えます。想像以上に大変な作業でしたが、今回、それぞれの立場に関連する歴史的な事件や出来事を年表にし、個人史もそこに加えました。年代ごとに一目でマイノリティーが置かれている状況が理解できます。年表の最後は、5月25日に、「ヘイト・スピーチ解消法」が成立したことを明記しました。市民的権利のない「在日」や日本人の仲間が闘った成果ですが、保護すべき対象が限定され、本の執筆者のほとんどが除外されています。さらなる訴えが必要です。

さまざまなルーツを持ち、日本社会で生きる女性たちの本、「家族写真をめぐる私たちの歴史」(御茶の水書房・A5版264頁)は6月18日に刊行予定です。とよなか国際交流協会のスタッフやボランティアも2人、書いています。是非、ご一読を!

# とよなか国際交流センターの事業について

## 定例事業(以下すべて参加費は無料です)

### 国際交流に関する情報の収集および提供事業

センター内の「ふれあい交流サロン」にて、子ども、おとな向けの書籍をお借りいただけます(多言語絵本もあります)。また、様々な媒体で定期的に日本語、多言語で情報発信を行っています。

### 国際理解推進事業

子ども、おとなを対象とした多文化共生・国際理解の勉強会を随時行っています。「おまつり地球一周クラブ」「市民セミナー」「世界を食べよう」「多文化・多言語セミナー」等

### 在住外国人に対する支援事業

「子ども母語」 第2・4日曜日10:00~12:00

・母語学習(中国語・スペイン語・ポルトガル語・タイ語)を通じて仲間づくり、居場所づくりをしています。幼児・小学生・中学生・高校生が参加しています。スタッフも外国にルーツをもつ学生です。

「学習支援サンプレイス」日曜日13:00~15:00※第1日曜除く

・日本語と学習支援の活動を通じて子どもたちの居場所づくりをしています。小学生・中学生・高校生が参加しています。ボランティアは大学生で、外国にルーツをもつ大学生ボランティアも多数参加しています。

「多文化保育にこここ」 木曜日13:30~15:30、金曜日10:30~12:00

・外国にルーツを持つ就学前の子どもたちが、さまざまな人と出会い、社会性を身につけるばづくりをしています。他…

### 在住外国人に対する相談事業

夫婦関係DV、在留資格、行政手続き、医療、労働、教育、子育て、人間関係等、何でも相談できます。面談でも、電話でもOK。秘密厳守!

毎週金曜日11:00~16:00 (電話06-6843-4343)

対応言語:フィリピン語・タイ語・中国語・韓国朝鮮語・スペイン語・インドネシア語・ベトナム語・英語・ネパール語・ポルトガル語・日本語

### 国際交流活動への住民の参加促進事業

留学生ホストファミリー事業ほか、日本語交流活動にも数多くの市民がボランティアとして参加しています。

### 日本語交流活動

「もっともつつかえるにほんご」月曜日10:00~12:00  
 「とよなかにほんご・木ひる」木曜日13:30~15:30(保育活動あり)  
 「とよなかにほんご・金あさ」金曜日10:30~12:00(保育活動あり)  
 「にちようかちやがちやだん」日曜日10:00~12:00※第1日曜除く

地域の外国人とボランティアが出会い、日本語交流を通じて生活に必要な日本語を学び、豊かな人間関係を築く場をつくっています。

「おかまち・おやこでにほんご」(場所:岡町図書館)  
 「しょうない・おやこでにほんご」(場所:庄内図書館)  
 「せんり・おやこでにほんご」(場所:千里図書館)  
 火曜日10:00~12:00

乳幼児を抱えて家にもりがちな外国人女性が子どもを連れて安心して集い、交流・情報交換ができるママ友づくりの場を図書館の協力のもとで実施しています。運営ボランティアも子育て中の女性です。

…その他、市民参加型のイベントや人権や多文化共生に関する講座、対話の場なども実施しています。また、ボランティアについてのお問合せや国際交流団体の運営相談にも随時対応しております。お気軽にお問合せ下さい。

## 施設管理に関する業務:貸室について

★駅前で便利!★ 会議やイベントにぜひご利用下さい。

センター貸室使用申込み…受付時間:開館日の午前9時から午後8時まで  
 会議室、料理室、音楽・健康づくりルーム、和室、プレイルーム、ギャラリーを初めてご使用になる場合は、事前の登録が必要になりますので、お問合せ下さい。

とよなか国際交流センター貸室使用料金表

部屋名	広さ (m <sup>2</sup> )	定員(人)	料金(円)				設備
			午前 9:00~12:00	午後 13:00~17:00	夜間 18:00~21:30	全日 9:00~21:30	
会議室1	41	18	520	720	640	1,880	ホワイトボード(小)
			2,600	3,600	3,200	9,400	
会議室2A	34	21	480	600	520	1,600	
			2,400	3,000	2,600	8,000	
会議室2B	65	48	840	1,120	1,000	2,960	
			4,200	5,600	5,000	14,800	
会議室2C	33	21	440	560	520	1,520	ホワイトボード(2ABC2BCを一堂として使用する場合は不可)
			2,200	2,800	2,600	7,600	
会議室3	55	18	520	720	640	1,880	ホワイトボード(大)
			2,600	3,600	3,200	9,400	
会議室4	63	30	840	1,080	960	2,880	ホワイトボード(小)、流し台
			4,200	5,400	4,800	14,400	
会議室5	27	12	360	480	400	1,240	ホワイトボード(大)
			1,800	2,400	2,000	6,200	
和室	38	18	480	680	560	1,720	10畳
			2,400	3,400	2,800	8,600	
ギャラリー	18	-	240	320	280	840	壁画ガラスケース、ピクチャーレール
			1,200	1,600	1,400	4,200	
プレイルーム1	57	20	880	1,160	1,040	3,080	子ども用トイレ
			4,400	5,800	5,200	15,400	
プレイルーム2A	43	15	680	880	760	2,320	子ども用トイレ、畳(一部)
			3,400	4,400	3,800	11,600	
プレイルーム2B	52	18	800	1,040	920	2,760	子ども用トイレ
			4,000	5,200	4,600	13,800	
音楽・健康づくりルーム	113	40	1,480	2,000	1,760	5,240	アンプライバリア(必要な訓練の費用は各使用者負担)、ビデオ、カセット、CD、MD、マイク、壁面鏡、更衣室(ロッカー、洗面台)
			7,400	10,000	8,800	26,200	
料理室	90	30	9:00~13:00	13:30~17:30	18:00~21:30	9:00~21:30	調理台6台のうち昇降調理台2個、準備室(ロッカー、洗面台、ホワイトボード)
			1,720	1,720	1,560	5,000	
			8,600	8,600	7,800	25,000	

備考 1. 2区分にわたって継続して使用する時の使用料は、それぞれの区分の料金の合計額とします  
 2. 料理室の使用区分のみ、料理室枠内の記載時間とします  
 3. 上段:国際交流目的で使用時の料金(内容審査あり)、下段:その他の活動で使用時の料金  
 4. 使用時間には、準備、後片付けの時間を含みます(時間厳守)  
 5. 鍵は時間の5分前からお渡しできます その際「使用承認書兼領収証」を必ずご提示ください

## 国際交流の活動を応援します!◎

### 登録グループ制度についてのご案内

とよなか国際交流センターでは「登録グループ制度」を設置し、国際交流の活動に組織的かつ継続的に取り組む方々の自主的な活動推進のための支援を行っています。

登録グループへの支援内容(一部)  
 ・国際交流目的で貸室を毎月2コマ(午前・午後・夜間のいずれか1室につき1コマ)まで無料で使用できます。  
 ・センター内の掲示板で情報提供できます  
 ・印刷機が無料で使用できます(紙は要持ち込み)

・センター内のロッカーが無料で利用できます。…など  
 その他、登録グループになるための要件、登録後の役割等については「登録グループ制度要項」に詳細に記載しています。豊中市のウェブサイトからもダウンロードできますので、ご関心のある方はご覧下さい。https://www.city.toyonaka.osaka.jp/jinken\_gayokushu/kokushu/tourouguru-pu.html  
 もしくは、当センターの受付でも入手可能ですので、お問合せ下さい。

◎「登録グループ活動紹介」の冊子をセンター受付にて無料配布中です◎



～地域や学校での国際理解教育にお役立て下さい!～

## 各国の民族衣装などを貸出します!

豊中市の公的教育機関は貸出料無料! 詳細はHPもしくはお電話にてお問合せ下さい。

【お問合せ】 TEL 06-6843-4343 FAX 06-6843-4375

とよなか国際交流協会(指定管理者)

Facebook! ほぼ毎日更新中! 「公益財団法人とよなか国際交流協会」で検索!

開館時間: 午前9時~午後9時30分 / 業務受付時間: 午前9時~午後8時 休館日: 毎週水曜日、年末年始  
 アクセス: 阪急宝塚線「豊中」駅から徒歩1分(阪急梅田駅から急行で11分)  
 地下3階に有料駐車場有り(210台)、1階に有料駐輪場あり(自転車・バイク)

編集・発行 公益財団法人とよなか国際交流協会(とよなか国際交流センター指定管理者)  
 〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1-1-1-601 とよなか国際交流センター  
 E-mail: atoms@a.zaq.jp http://www.a-atoms.info



◎アクセス: 阪急宝塚線「豊中」駅から徒歩1分